

天 然 橋

【所 在 地】南九州市川辺町上山田柿房虚空蔵岳

【種 別】県指定天然記念物

【指定年月日】昭和 29 年 5 月 24 日



付近一帯の地形は 300 ~ 400m の低平な山地と、その周囲を取り囲むように分布するシラス台地からなる。山地は基盤をつくる四万十累層群と、それを覆う数百万年前の南薩層群に属する火山噴出物でつくられている。

天然橋は、虚空蔵岳の頂上付近の、安山岩質凝灰角礫岩層を東西にまたいだもので、長さ 8 m、高さ 3.3m あり、アーチ型をしている。橋床から橋上まで高さ 10m、橋上の幅 3.5m で、人が自由に往来できる広さである。

この天然橋は、風雨による長年にわたる浸食作用の結果できたもので、凝灰角礫岩の割れ目に雨水がしみ込み、それが徐々に拡大してついに穴が形成され、アーチ型になったものである。このような天然橋は全国的にもまれであり、本県では唯一のものである。

アーチ部分から南薩山地と、それをとりまく平野を望むことができ景観がよい。また、かつては修験の場となったことがある。